

株主の皆様へ

代表取締役社長 兼 CEO
氏家 俊明



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

建設用クレーン業界は、排ガス規制に加え、近年は世界的な脱炭素化に向けた取り組みが進んでいるほか、AIを活用した自動運転をはじめとする技術革新も著しく、大きな変化の節目に差し掛かっています。世界における社会の潮流、そして業界、企業の動向に目を配りながら、いち早く時流を捉え、常に進化し続ける企業であらねばならないと考えております。

タダノグループを取り巻く経営環境は、ロシア・ウクライナ問題の長期化やインフレ・円安進行などにより、原材料・エネルギー価格は高止まりし、調達・物流環境は厳しい状況が続きました。また、これらの要因が欧州事業再生の重石となり、2023年度の業績数値は中期経営計画(21-23)最終年度の目標数値に残念ながら届かない可能性が高くなっている状況です。一方で、コロナ禍の影響は薄れつつあり、受注状

況は総じて好調なことから、これを着実に販売へつなげていきたいと考えております。

建設用クレーン業界は大きな変化に直面しています。まずはタダノグループの経営資源を欧州事業に投入して、再建を加速させていくとともに、世の中の変革をリードしていくため、より効率的な製品・システム、環境負荷のない製品を世の中に供給していくための新技術を取得すべく、オープンイノベーションや他社との協業を通じ、スピードをもって対応していきます。

そして、「ONE TADANO」のスローガンのもと、タダノグループとして、最大限のシナジー効果を生み出すべく、世界最適生産体制を追求するとともに、地域と地球に貢献できる新技術を開発し「LE(Lifting Equipment)世界No.1」の実現に向け、邁進していきます。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年9月

▶ 営業の経過及び成果

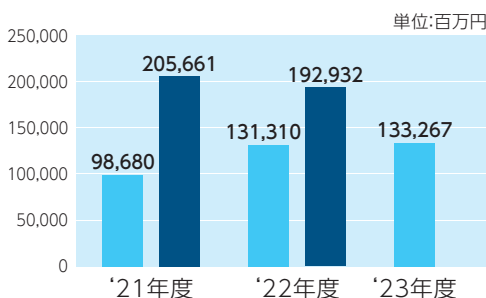
私どもの業界は、日本では、大型公共工事を中心とした順調な稼働を背景に、需要は堅調に推移しました。海外においては、緩やかな景気回復を背景に、欧州を除く全ての地域で需要は増加傾向となりました。

日本向け売上高は、490億8千4百万円となりました。海外向け

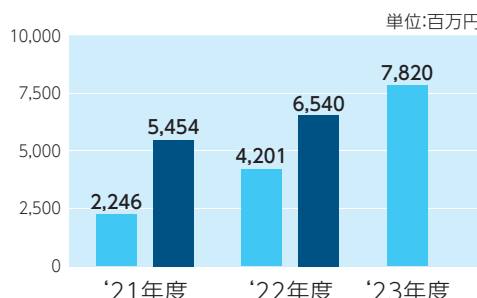
売上高は、841億8千2百万円となりました。この結果、総売上高は1,332億6千7百万円、海外売上高比率は63.2%となりました。

営業利益は、87億9千7百万円、経常利益は78億2千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億5千万円となりました。

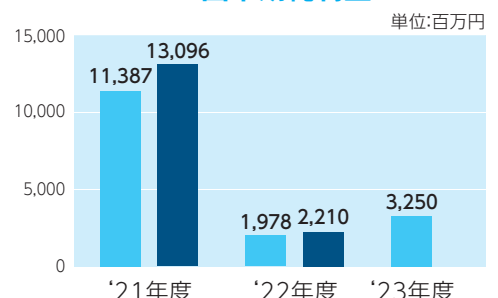
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



■ 中間期 ■ 通期

※2022年度は決算期変更の経過期間であるため、当社及び3月決算であった連結対象子会社は9か月間、12月決算の連結対象子会社は12か月間を連結対象期間としております。

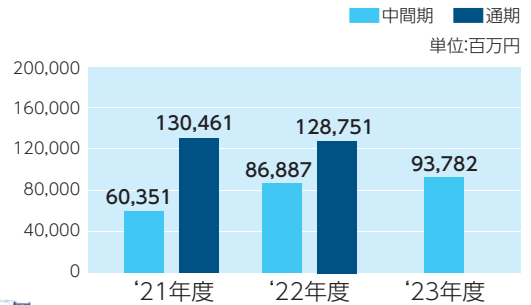


タダノグループの連結業績の概況

▶ タダノグループの主要品目別売上高の推移

建設用クレーン

需要は、日本では堅調に推移し、海外では欧州を除く全ての地域で増加し、日本向け売上高は、247億5千2百万円、海外向け売上高は、690億3千万円となりました。この結果、建設用クレーンの売上高は937億8千2百万円となりました。



オールテレーンクレーン



ラフテレーンクレーン



トラッククレーン



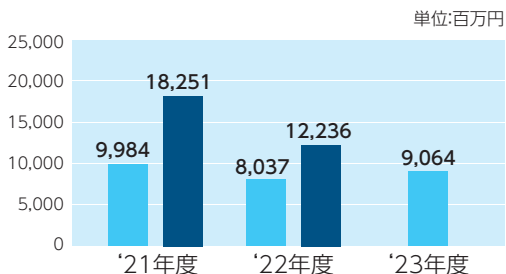
伸縮ブーム式
クローラクレーン



ラチスブーム式
クローラクレーン

車両搭載型クレーン

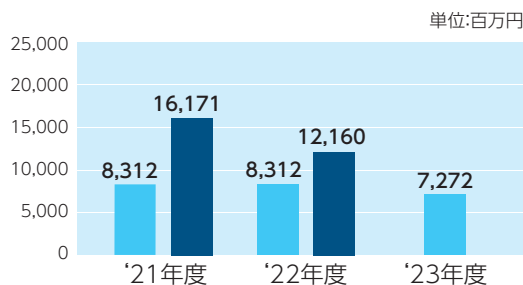
日本向け売上高は、需要が増加傾向にあり、80億4千7百万円となりました。海外向け売上高は、10億1千7百万円となりました。この結果、車両搭載型クレーンの売上高は90億6千4百万円となりました。



カーゴクレーン

高所作業車

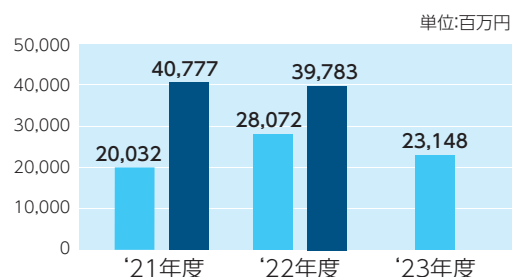
高所作業車は、需要が横ばいで推移する中、トラックシャシ供給制約もあり、売上高は72億7千2百万円となりました。



スーパーデッキ

その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、231億4千8百万円となりました。

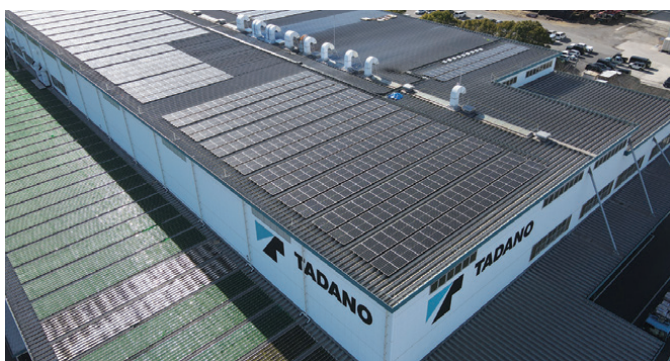




トピックス、ESG・SDGsへの取り組み

▶ 多度津工場の太陽光発電設備が完成

2023年1月、多度津工場に最大出力606kWの太陽光パネルを設置しました。これによって多度津工場の年間消費電力の32.2%を再生可能エネルギーで賄える計算となります。国内外におけるその他の事業所でも、太陽光パネルの設置やエアコン・照明の節電、社有車のEV化・HV化など、環境負荷低減に取り組んでいます。今後も社会の一員として、地球環境との調和および環境の改善に配慮し、脱炭素社会の実現に向けた各種取り組みを強化していきます。



▶ トルコ・シリア大地震の復興支援

2023年4月、トルコ南部・シリア国境付近で発生した大地震に関して、今後も続く被災地の復旧・復興活動を支援するため、オールテレーンクレーンATF50G-3をトルコ政府に寄贈しました。当社のクレーンで現地の復旧・復興活動が迅速かつ安全に進むことを望んでおります。



▶ CONEXPO 2023

2023年3月、アメリカ・ラスベガスで開催された世界最大級の建機展「CONEXPO 2023」に最新製品を出展しました。5日間の展示期間中、多くのお客さまが来場くださいました。アメリカ、カナダ市場向けフル電動ラフテレーンクレーンGR-1000XLL EVOLTをはじめとする「Tadano Green Solutions」専用のグリーンエリアでは、『Our True Mission:ゼロエミッション』のローガンのもと、環境に配慮した製品や事業活動についてのパネルを展示し、お客さまの注目を集めました。



▶ かがわ脱炭素促進事業者表彰で優秀賞を受賞

香川県は脱炭素につながる取り組みを促進するため、CO₂排出量削減に取り組む企業を表彰する「かがわ脱炭素促進事業者表彰」を2022年度はじめて実施し、タダノが「優秀賞」を受賞しました。2023年4月、香川県庁で表彰式が行われました。当社の受賞理由として、全社方針に「2050年カーボンネットゼロ」を掲げ、2022年4月に「世界初となる電動ラフテレーンクレーン」の商品化計画を発表（2023年内に販売を開始予定）するなど、自社製品のCO₂排出量削減を進めている点や、自社工場で太陽光発電を導入し、事業活動のCO₂排出量削減にも積極的に取り組んでいる点を高く評価していただきました。





新製品紹介

クラス最大の地上高とコンパクト化を実現した高所作業車 AT-280XTG



■コンパクトな車両

本機では3.5t車クラスへの架装が可能となったことで準中型免許での走行が可能となりました。コンパクトな車両は従来機(AT-270TG)より走行燃費の向上や、CO₂排出量の低減など環境の改善にも貢献しております。

■扉付きバスケットの採用

バスケットへの乗り降りが容易な扉付きのバスケットを採用しました。扉付きとすることでフルハーネス型墜落制止用器具装置の装着時でも、容易にバスケットへの乗り降りができるようになり、作業者の負担軽減と作業性の向上を実現しております。開閉扉は自動ロック機構を採用し安全性にも配慮しております。(JIS規格対応)

アメリカ・カナダ向けトラッククレーン GT-1200XL-2・GT-800XL-2



GT-800XL-2



GT-1200XL-2

■快適な乗り心地を実現する新キャリヤ設計

最高出力373kw、最大トルク2035NmのカミズX12エンジンを搭載し、最高速度は105km/hでの走行が可能。広々としたフルサイズキャビンは2人定員とし、フロント、リヤには独立したエアサスペンションを搭載、長距離の移動も快適な乗り心地を提供します。

■クラス最長のロングブーム

GT-1200XL-2は51.0mのブーム長で5段ピンニング方式を採用、GT-800XL-2は47.0mのブーム長で5段同時伸縮方式の長尺ブームを採用しました。

■GRと共通のクレーン操作部

クレーン操作部にはキャプチルト、大型のモニター(AML-E)、スマートチャート性能など、ラフテレーンクレーンと共通の機能・コンポーネントを採用しています。



会社概要 (2023年6月30日現在)

概要

商号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資本金	13,021,568,461円 (発行済株式の総数 129,500,355株)
設立	1948年8月24日
従業員数	単独1,596名 連結4,667名
事業内容	建設用クレーン、 車両搭載型クレーンおよび高所作業車等の製造販売

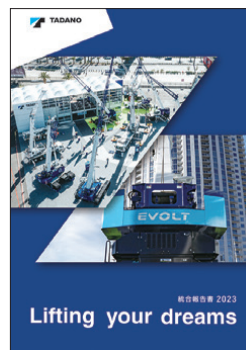
本社	香川県高松市新田町甲34番地
東京オフィス	東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1 KANDA SQUARE 18階
工場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、香西工場(高松市)、 多度津工場(多度津町)、千葉工場(千葉市) タダノコアテクセンター(丸亀市)
研究所・試験場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支店・営業所	10支店・23営業所
海外事務所	北京事務所、モスクワ事務所
グループ会社	子会社35社・関連会社2社

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会・期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
公告掲載方法	電子公告 (https://www.tadano.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
株式事務のお問い合わせ先	【証券会社で口座を開設されている場合】 お取引の証券会社にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されていない場合】 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)



統合報告書発行のお知らせ



統合報告書2023を発行しました。当社の経営状況や持続的成長に向けた取り組みについて、ご紹介しています。こちらのウェブサイトからご覧ください。

▶▶ www.tadano.co.jp/ir/integrated_report/index.html



タダノ ウェブサイト

決算やESGに関する情報を開示しています。

▶▶ www.tadano.co.jp/index.html

